

公表所管課長（総務部総務課長） 様

教育部生涯学習課長

会 議 要 録

名 称	令和 4 年度西予市図書館協議会定例会	
事 務 局	西予市教育委員会教育部生涯学習課西予市図書交流館	
	電 話 0894-62-6420	
	F A X 0894-62-6579	
開 催 日 時	令和 4 年 8 月 3 日(水)午前 10 時 00 分～午前 11 時 53 分	
開 催 場 所	西予市図書交流館まなびあん多目的ホール	
出席者	委 員	委員 4 名
	事務局	西予市図書交流館 6 名
議事内容(要旨)	<p>開会（事務局）</p> <p>1. あいさつ 西予市図書交流館長</p> <p>2. 自己紹介</p> <p>3. 報告事項</p> <p>(1) 令和 4 年度西予市図書交流館活動計画「重点目標」について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書交流館は生涯学習を地域で推進していくための土台であり、市民の最も身近な社会教育の機関であることを踏まえ、①市民に開かれた図書館としてサービス充実(レファレンスの利用拡大)、②読書グループ、読み聞かせボランティアの育成・交流促進・支援、③子育て世代の利用拡大と子どもの読書習慣の育成の 3 点を重点目標に定めた旨を報告。(事務局)</li> </ul> <p>(2) 各館の年間計画及び進捗状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中央館 → 野村分館 → 三瓶分館 → 明浜分館 → 城川地区の順番で本年度年間事業計画を報告。(各館担当者)</li> </ul> <p>(3) 各館利用状況等の推移について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成元年度から 3 年度までの各館貸出冊数、入館者数や</li> </ul>	

時間帯・曜日別入館者数また、中央館の貸館利用率の推移についてグラフで報告。(事務局)

#### (4) その他

地域づくり活動センター化への移行前整理として、令和3年度中に城川4分館(遊子川, 高川, 土居, 魚成)が実施した除籍図書数を報告。(事務局)

#### 5. 意見交換

- ・ 図書交流館が行っている多読者賞表彰は、各小中学校が行っているそれとは違うのか。(委員)

- ・ 図書交流館独自の表彰方式で交流館所蔵図書の貸出冊数(4月から9月までの間)上位者を表彰するもの。中央, 野村, 三瓶分館の3館が、それぞれの校区の児童生徒を対象に行っており、中央館は明浜, 宇和地区、野村分館が野村, 城川地区、三瓶分館が三瓶地区の学校を管轄する。期間内に50冊以上貸出しした者が表彰対象となり、その中で上位10名は、秋の読書週間中に各館が開催する表彰式に招待し、館長から直々に賞状を受け取る。(事務局)

- ・ 冊数を公表していただくと、子どもの間で話題になり、みんなが競ってどんどん借りるようになるのではないか。(委員)

- ・ 借りた冊数だけを競い合う風潮が現れ、難しい一面もある。よって、冊数の公表はしておらず、また多読者賞レースの広報も現在、していない。結果的に読書をたくさんした児童生徒を称えるという表彰のスタンスをとっている。(事務局)

- ・ 年間行事予定に避難訓練とある。三瓶分館にだけ記載がないのだが。(委員)

- ・ 中央館と野村分館は施設の管理運営主体が図書交流館のため、すでに実施日を決定した上で記載をしている。一方、三瓶分館は三瓶文化会館の中に設置され、施設の所管が三瓶教育課である。まだ日程の通知が来ていないため記載していないが、決定次第、確実に実施する。(事務局)

- ・ 中央館は午前10時開館だが、遅いのではないか。(委員)

- ・ 私も遅いと思う。グループで貸館を利用する際、10時に入館し準備、それからの活動となると、実質1時間半しか利用できず不便である。利用者として大変困っている。(委員)

- ・ 開館後3年を経過し、中央館には市民から様々な意見が

寄せられている。中でも、もっと早い時刻に開館して欲しいとの声は、多く聞かれる。中央館に隣接する認定こども園では、お子さんの送りのピークが午前9時前後であり、ちょうど入りたいんだけど入れないと言われる親御さんがいる。ある主婦の方は、スーパーで生鮮食料品を買った後では図書館に立ち寄れないので、買い物前に開館して欲しいと要望される。また、貸館については、午前の時間帯が短く、使い勝手が悪いことから利用を敬遠される団体が少なくない。その結果、午後が予約の争奪戦となるため重複してしまい、利用を断らざるを得ないケースが出ている。

(事務局)

・事務所には、9時頃から市民から問合せや予約の電話、市役所からの電話がどんどんかかってくる。午前9時30分頃には図書館開館待ちの利用者が、平日で数人、土日は複数見られる状況。そういう利用者さんの意向を考えると早く開けてあげたい気持ちはある。(事務局)

・【県内16公共図書館の開館時刻、開館時間を提示】  
ほとんどが午前9時もしくは9時30分開館で10時開館は2館だけ。(事務局)

・【宇和島、八幡浜、大洲市の各図書館の時間帯別利用者数を提示】

西予市を含め、いずれの図書館でも開館直後と午後2時頃の利用者が多く、夕方以降は極端に減少。19時閉館の宇和島市は18時以降の利用者がごく少数。大洲市は18時00分、八幡浜市は18時30分に閉館。(事務局)

・私の周囲の利用者からも早期開館の要望は多い。是非、中央館の開館時刻を今の10時より繰り上げて欲しい。その方が利用者数の増加にもつながり有効である。また、開館時間が1日10時間を超える図書館は、県内でも大規模市が中心であり、その大規模市には、中央館の2倍以上の職員が在席している。今の状態で、この中央館の施設は廻せないと考える。中央館の職員数を増員して1日10時間を維持するか、職員を増やせないなら開館時刻と併せて閉館時刻もさらにもっと早めるなど、開館時間自体を短くした対応をお願いしたい。(委員)

・中央館オープン時、管理部局との話し合いもあったが、この人数しか置けなかったのが現状である。この図書館協議会で開館時刻を早めて欲しい、職員を増やして欲しいという声が上がったことを十分に踏まえ、どのような対応が

出来るか検討していきたい。（事務局）

・明浜地区には分館が一つしかなく、他の3公民館（俵津、狩江、田之浜）へ新刊を巡回しているというが、その本は各公民館の中のどこに置いているのか。（委員）

・各公民館の図書室に展示している。（事務局）

・小学校と比べて中学校の図書室の非充実ぶりが目に余る。（委員）

・小学校は学級担任で、中学校は教科担任。風土が異なることと、学校の図書主任の意識によって大きく異なると思う。中学校へも図書館等から団体貸出のお声掛けをいただくが、担当の先生で止まってしまうところがある。学校協議会で声を上げて、働きかけていただくと変わってくると思う。（委員）

・明浜分館では貸出図書数が飛躍的に伸びている。職員が、市民に対して根気強く利用を呼びかけたことが大きいと思うが、城川4分館でも新刊書を巡回していけば、貸出しが増えると思うがしても構わないか。（委員）

・全く構わない。城川4分館が相談して系統だった図書購入をしても良いし、各分館が購入した新刊を相互に貸し出ししても良い。より利用者の目に触れ、読んでいただく機会を増やす方法をとっていただきたい。（事務局）

・昔、城川の公民館を全て図書館分館のまま置くか、集約するかという話が合った時、分館で継続する道を選択した。その結果、システムが全公民館に残った。操作が難しく担当者が交代するたびに苦労しているのが現実である。（委員）

・実際のところ、分館と公民館と何が違うのかと言えば、図書館システムが入っているかいないかの違いだけだが、名前から図書館分館が消えると不安に思われる市民の方がいるのではないか。しかしそれは違って、分館を城川地区で1つに集約することで、公民館へいろんな図書が廻ってきて借りやすくなるんですよ。と地元の方々に今後説明していく必要があるのかなと思う。（事務局）

・学校図書館は重要な役割を担う。学校への働き掛けを冒頭の重点目標の2に実際の働きかけとして掲載すべきと思う。（委員）

・学校側の様子を伺ってみて検討する。（事務局）

・図書交流館運営も要はお金である。寄付金を図書交流館に持参した場合、図書交流館で使えるのか。（委員）

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・残念ながら出来ない。一旦、西予市会計に寄附金として歳入処理をする。図書交流館で使ってくださいとの意向で寄附されても、市のお金になるので図書交流館で勝手に使うわけにはいかない。（事務局）</li> <li>・高齢者に対する利用拡大策は何か考えているか。（委員）</li> <li>・11月1日の古典の日に、高齢者向け講座を予定している。紫式部日記を読んでもみようというテーマで催しを行う。もちろん、これだけでは回数が少ないので今後、増やしていこうと考えている。（事務局）</li> <li>・例えば、敬老の日に掲示物をして、入館すれば、図書の展示もあり、これを読んだら楽しいよとか、すぐわかる工夫などを考えていただければありがたい。（委員）</li> <li>・中央公民館では、古典講座を30年以上継続し、源氏物語を読んでいた。しかし、講師の高齢化により残念ながら閉講となった。それを今回の中央館の講座をきっかけに、引き継げるかなと考えている。（事務局）</li> <li>・重点目標として掲げて継続して実施している読書グループ、読み聞かせボランティア等の研修を現在、図書交流館が主体で行っていただいているが、グループが主体の連絡協議会が出来れば良いと思う。グループの代表者で話し合っ、どのようなことがしたいか希望を出し合っ案が出来る、そういう集まりが出来ればよい。（委員）</li> <li>・ごもっともな意見ではあるが、昨今、参加者が減り各種団体が衰退している一つの原因として、役の受け手がいないという要因がある。団体は必要だと思うが、少し慎重に考える必要がある。機運が醸成し、どの団体からもそういう考えが育ってくれば良いが、もうしばらく図書交流館主導の研修を続けてみて、手応えを見ていきたい。（事務局）</li> <li>・最後に、本年度は「第Ⅱ次西予市子ども読書活動推進計画」の策定年度にあたる。2学期中に、学校の協力を得て、基礎となるアンケート調査を実施、その後事務方で集計する。その結果をもって、年明けに図書館協議会の臨時会を招集し、そこで委員の皆様の意見を集約して計画の策定を行う。引き続き、ご出席とご協力をお願いします。（事務局）</li> </ul>
備 考	